

「民児協における子育て支援活動等状況調査2」

「課題を抱える親子・家族への支援に関する連携・協働についての調査」

【ご記入にあたって】

1 この調査は、単位民生委員児童委員協議会（以下、「単位民児協」という）における「課題を抱える親子・家族への支援（虐待対応を含む）活動（以下、「課題を抱える親子・家族への支援活動等」という）」についておうかがいする調査ですので、会長にご回答をお願いいたします。

個々の活動については、適宜、状況を把握している委員の方にご確認いただき、最終的には単位民児協（地区民児協・町村民児協）の回答として、会長がもとめくださいますようお願いいたします。

2 いただいたご回答は統計的な目的でのみ使用いたしますので、個々の単位民児協の回答を公表することはございません。

3 ご回答いただいた内容（事例）については、後日詳細をおうかがいする場合がございますので、お含みおきください。

4 特に指定のない限り、平成21年9月1日時点の状況をご回答ください。それ以外については、文中の説明に沿ってお答えください。

5 ご回答は、あてはまる選択肢の番号を○で囲んでいただく他に、具体的な数字や内容を空欄にご記入いただく箇所もございます。また、該当する場合にはのみご回答をお願いする設問もあります。説明に沿ってお進みください。

6 事例をご紹介いただく設問についてはそのまま公表することはございませんが、記入の際の留意事項をご確認いただき、プライバシー等にご配慮の上、ご記入ください。

7 ご回答は、この調査票に、黒色のボールペンまたは黒鉛筆にて直接ご記入ください。

8 本調査は、専門の調査機関に委託しております。ご記入いただいた調査票は、同封の調査機関宛の封筒にて、平成21年10月20日（火）までにお送りください（切手は不要です）。

9 調査票の記入方法に関するご不明な点は、下記調査機関担当窓口までお問い合わせください。また、調査の趣旨などにつきましては、下記調査実施主体までお問い合わせください。

〈調査委託機関〉 財団法人 日本総合研究所 担当：田口・白紙（しらかみ）  
TEL 03-3351-7575 FAX 03-3351-7561

〈調査実施主体〉 全国民生委員児童委員連合会事務局  
社会福祉法人全国社会福祉協議会民生部  
担当：針谷（はりや）・阿部  
TEL 03-3581-6747 FAX 03-3581-6748



問2 課題を抱える親子・家族への支援等に関する、地域の関係機関・団体との連携状況等についてうかがいます。

(1) 貴単位民児協では、課題を抱える親子・家族への支援等に関して、市区町村児童担当部・課や地域の関係機関とどのように連携・協力していますか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 単位民児協が関わるケースについては、市区町村児童担当部・課等の関係機関が主催する個別支援ケース会議に参加している
2. 市区町村児童担当部・課や関係機関との間で、情報共有・交換を迅速に行なう仕組み・ルールを共有化している
3. 市区町村児童担当部・課等が作成している、課題を抱える親子・家族への支援（虐待対応を含む）マニュアルなどを活用している
4. 市区町村児童担当部・課等関係機関内で記録用紙を共通（統一）化している
5. その他（ ）

(2) 貴単位民児協が所在する市区町村では、平成20年度時点で、保護を必要とする児童等に関して関係者間で情報の交換と支援の協議を行なう「要保護児童対策地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）」等が設置されていますか。（あてはまるもの1つに○）

- ア. 要保護児童対策地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）が設置されている
- イ. 児童虐待防止ネットワークが設置されている
- ウ. いずれも設置されていない → (3) へ
- エ. 設置されているかどうかかわからない → (3) へ

【(2)で、「ア。」あるいは「イ。」に○をつけた方にうかがいます】

(2) -1. これまでに、貴単位民児協の委員の方が、上記ネットワークのなかで開催される個別支援ケース会議に出席したことはありますか。（いずれかに○）

\*出席者が貴単位民児協内でのような立場の方かということとは問いません。

1. ある
2. ない

(3) 関係機関や団体とのネットワークという点からみて、課題を抱える親子・家族への支援活動等を効果的に進めるうえで(ア) 地域の特長と思われる仕組み、(イ) 貴単位民児協の取り組み等がありましたら、簡潔にお書きください。

(ア) 地域の特長と思われる仕組み	(イ) 貴単位民児協の取り組み
-------------------	-----------------

(4) 課題を抱える親子・家族などの地域の児童に関する課題で、関係機関・団体と連携する上での課題はどのようなことですか。  
(あてはまるものすべてに○)

1. 市区町村児童担当部・課や学校、児童相談所等の関係機関から、支援や対応に必要な情報が得られない
2. 市区町村児童担当部・課等の関係機関と情報を共有する上での明確なルールがない
3. 市区町村児童担当部・課等からの依頼により個別ケースの状況を報告しても、その結果やその後の経過についてフィードバックが得られない
4. 市区町村児童担当部・課等から「調査」や「見守り」を依頼されるが、民児協としてどこまで担えばよいかわからない
5. 関係機関間で状況（情報共有）や支援の認識、対応に差があり、民児協として判断に迷う
6. 関係機関・団体等の適切な連携先がわからないことがある
7. その他（ ）
8. 特にない



(3) そのケースは、どのように発見しましたか。(もっともあてはまるもの1つに○)

1. 児童委員・主任児童委員の個別の訪問活動等によって
2. 支援を必要としている親子・家族の近隣の方からの相談(通報)によって
3. 社協や自治会・町内会等からの依頼、相談(通報)によって
4. 関係機関・団体等との連絡会等会議によって
5. 市区町村児童担当部・課や学校、児童相談所等の関係機関から依頼を受けて
6. 単位民児協の子育て支援、児童健全育成等の活動(子育てサロン等含)を通じて
7. 単位民児協の子育て支援、児童健全育成等の活動以外の活動を通じて
8. 単位民児協が実施した各種調査を通して
9. その他( )

(4) そのケースの対応では、個別支援ケース会議など、支援に向けての関係者による会議は開催されましたか。(いずれかに○)

1. 開催された
2. 開催されなかった
3. わからない

(5) そのケースへの対応では、どのような関係機関・団体と連携・協力しましたか。(あてはまるものすべてに○)

1. 市区町村の児童担当部・課、家庭児童相談室
2. 児童相談所
3. 市区町村の福祉担当部・課、福祉事務所
4. 教育委員会
5. 学校
6. 保育所、幼稚園
7. 保健所・保健センター
8. 児童館・児童センター
9. 地域子育て支援センター
10. 児童家庭支援センター
11. 乳児院
12. 児童養護施設
13. 母子家庭支援施設
14. 医療機関
15. 警察署
16. 弁護士(会)
17. 社会福祉協議会
18. 自主活動団体(NPOなど)
19. 自治会・町内会等の地域組織
20. その他( )

(6) そのケースの状況や連携による支援の内容をご紹介ください。(要点に沿って「記入のポイント」と「注」を参考に、できるだけ簡潔に実行でご記入ください。)

＊要点(事例の記入に当たって、必ず触れてほしい内容)＊

- ①支援の対象となった児童の状況
- ②個別支援が必要な内容(主な課題)
- ③この事例に関わった背景・きっかけ
- ④単位民児協としての支援内容や経過
- ⑤関係機関との関わり、連携
- ⑥この事例の結末
- ⑦本事例における連携のポイント(よかった点や反省点・課題)

### 記入のポイント

- ①両親の離婚後、父親に引き取られた小学生のきょうだい。
- ②不登校になっていて、育児放棄の疑いもあった。
- ③学校から依頼があった。
- ④主任児童委員が担任の先生と訪問しようとしたが、父親に拒否された。民児協としての対応について協議。児童委員がチームを組んで交代で登校時間に訪問して声をかけたり、学童保育の後に父親が帰宅する時間までサポートしてくれるサービスを紹介した。
- ⑤家庭や学校での様子について、学校と定期的に連絡を取り合った。
- ⑥次第に父親も心を開いてくれ、近隣の人も交流するようになった。約1年かかったが、きょうだいともに元気に学校へ登校している。
- ⑦本事例における連携のポイント(ご自由に記入してください。)

＊注(事例の記入に当たって、ご注意願いたいこと)＊

- ◎児童や関係者は匿名での記入をお願いします。  
個人が特定されないために、名前(イニシャル、学校名、企業名など)や年齢、性別は書かないでください。
- ◎「記入のポイント」に沿って、できるだけ番号ごとに箇条書きし、不明の箇所は空欄にしてください。「記入のポイント」に付したような下線は不要です。

(6) 回答欄 (ご紹介いただいた事例が公表されることはありません)

① 【児童の状況】

② 【支援が必要な内容 (課題)】

③ 【背景・きっかけ】

④ 【支援内容や経過】

⑤ 【関係機関との関わり、連携】

⑥ 【結果】

⑦ 【連携のポイント (よかった点や反省点・課題)】

-----  
以上で質問は終わりです。  
ご協力いただき、ありがとうございます。

同封の返信用封筒にて、10月20日までにご投函ください (切手は不要です)

## 民児協における子育て支援活動等状況調査

### 作業委員会 委員名簿

(敬称略)

	氏 名	所属・役職	執筆
委 員 長	野坂 和弘	全民児連理事 全民児連児童委員活動推進部会副部長	
委 員	松原 康雄	明治学院大学 副学長・教授 全民児連児童委員活動推進部会委員	第Ⅱ部 総括
委 員	高橋 久雄	昭和女子大学 准教授 全民児連児童委員活動推進部会委員	第Ⅰ部 総括
委 員	辰巳 ヒロミ	東京都目黒区主任児童委員 全民児連児童委員活動推進部会委員	
委 員	井上 和江	高知県佐川町主任児童委員 全民児連児童委員活動推進部会委員	
研究協力者	秋貞 由美子	ルーテル学院大学専任講師	第Ⅱ部 第4章

民児協における子育て支援活動等状況調査 報告書

---

平成 22 年 3 月

発 行 全国民生委員児童委員連合会  
社会福祉法人 全国社会福祉協議会  
〒100-8980 東京都千代田区霞が関 3-3-2 新霞が関ビル  
電話 03-3581-6747

---